

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部



令和六年七月度 入賞句一覧

投句数 千三百五十二句

特選

名和 よちゑ 選

夏の雨地面やかさにやつあたり

大垣市

渡邊 結月(小六)

夏の雨といつても五月雨、梅雨、夕立、緑雨など色々あります。特に夏に多い夕立は、雷が鳴って激しい雨になります。時間帯も学校帰りや買物帰りによく降るような気がします。「やつあたり」という表現がおもしろいですね。傘にバラバラと落ち始め、次第に目の前が見えにくくなることもあり、地面を強く打ちつけて、肌に当たると痛いくらいです。落ち着いてよく雨の観察をしましたね。

ゆうばえにゆれる小麦はおうごんに

大垣市

加納 彩愛(小四)

麦には、小麦、大麦、ライ麦、烏麦などがあり、中国や欧米から入ってきました。パンやビールの原料になり、私達の生活に欠かせません。冬に種がまかれ、春には青々とした穂がつき、夏の初めには黄金色に稔ります。夕映えの中で、目の前に広がる景色をすなおに切り取りました。

大空の青さに負けぬ夏の海

加茂郡川辺町

高井 菜々美(中二)

照りつける太陽、青い空、白い雲、目の前には夏の海が青々と広がっています。海無し県の私達は広い海にそこがれますね。空と海とがひとつになつた水平線を眺めていると、感慨無量となります。広大な空の青さと海の青さを詠んでいるだけなのですが、共鳴してしまいます。スケールの大きな句となりました。

秀逸

古本屋帰り道にソーダ水

大垣市

長尾 静(小六)

縁側で足をぶらぶらかき氷

大垣市

岡田 あまね(小六)

空高くソフトクリームの雲がある

大垣市

なかむら みれい(小四)

ひまわりに約束つけてまた明日

大垣市

柳瀬 才嬉(小五)

夕立ちが昼の暑さを冷やしてる

加茂郡川辺町

高井 菜々美(中二)

夏の海夕日にてらされかもめもなく

加茂郡川辺町

山田 愛華(中二)

梅雨明けの花火の音が鳴り響く

加茂郡川辺町

福園 恵菜(中二)

夏休み時間は君を待たないよ

加茂郡川辺町

中島 健翔(中二)

風鈴と畳の上で眠る午後

加茂郡川辺町

山下 聖音(中三)

風切つて大暑の中をこいでゆく

加茂郡川辺町

野田 美樹葉(中三)

入選

| | | |
|-------------------|--------|--------------|
| つるつるとすべつてとれない心太 | 大垣市 | 中村 早希（小六） |
| 着る物を失敗してる日の盛り | 大垣市 | 林 ミケイライザ（小六） |
| ものごとがスイスイすすみ銀やんま | 大垣市 | 日比野 美寿（小六） |
| 下校中あやしい色の夏の雲 | 大垣市 | 田中 虎太郎（小六） |
| 雨上がり光のカーテン美しき | 大垣市 | 井上 明優美（小六） |
| 夏の朝まぶしすぎて早起きだ | 大垣市 | 石原 明紗（小六） |
| 星まつりお琴上手になりたいな | 大垣市 | 林田 愛美（小四） |
| バスケットシュートが決まる汗きらり | 大垣市 | 足立 龍之輔（小六） |
| こうそくのサービスエリアカブトムシ | 大垣市 | 松岡 親哉（小六） |
| 夏の川しぶきをあげて魚つり | 大垣市 | 原 幸士朗（小六） |
| バスケット試合に負けてまじるあせ | 大垣市 | 白川 惺也（小六） |
| 水泳で泳ぎきるまであきらめず | 大垣市 | 名和 志音（小六） |
| 水たまり雨がやんだらにじうつし | 大垣市 | 森井 彩心（小六） |
| バスの中まどに流れる梅雨の雨 | 大垣市 | 木村 心瑛（小六） |
| 夏の雨まつているほど強くなる | 大垣市 | 高下 楓夏（小六） |
| ふうりんの音からはじまる夏の日々 | 大垣市 | 谷 実咲（小五） |
| 川ぞいにほたるの光かがやいて | 大垣市 | 伊藤 里依香（小五） |
| ふうりんがチリンとなつてなつになる | 大垣市 | 小坂 茅佐（小五） |
| プール後の国語はみんな昼寝時 | 加茂郡川辺町 | 河合 優菜（中二） |
| 問題は解けずにアイスは溶けちゃうな | 加茂郡川辺町 | 田口 凱也（中三） |

小中学生の部

選者吟

踏んばって登れジグザグ子も蟻も

よちゑ

